

# 鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第138号

2025.2.28  
発行

## 第16回 鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会を開催！ ～環境モニタリング調査結果や環境保全に関する取り組み等について議論～

令和7年2月5日(水)、秋田市の秋田県JAビル8階大会議室において「第16回 鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会」を開催しました。

鳥海ダムでは、環境に配慮したダム事業を進めることを目的に各専門家から環境に関する指導及び技術的助言を頂きながら、鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会を開催しております。

今回は、令和6年度の鳥海ダム環境モニタリング調査結果について報告し、環境保全に関する取り組みや今後の調査計画について説明しました。委員の方々からは、環境保全に関する取り組みについて指導及び技術的助言を頂き、今後の調査について専門家としての視点から助言を頂きました。

今回の委員会にて頂いた指導及び技術的助言は、環境保全措置や環境調査方法等に反映し、継続して環境に配慮したダム事業を進めてまいります。

今回の委員会で使用した資料、助言等については、後日、鳥海ダム工事事務所のウェブサイトに掲載予定です。

鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会

<https://www.thr.mlit.go.jp/chokai/committee/assessment.html>

沢田 事務所長挨拶



委員会の様子



委員からの助言



# インフラDXの推進に向け勉強しています。

国土交通省では、データとデジタル技術を活用して、非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るため、「インフラ分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）」を推進しております。

DXは単なるデジタル化ではなく、「これまでの常識にとらわれることなく、国民のニーズを基に公共サービスの変革や、業務、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革し、国民、業界、職員への貢献を目指す取り組み」です。

鳥海ダム工事事務所においてもDXの推進に向けて事務所全体で取り組んでいるところであり、CIMモデル操作等日々勉強しています。

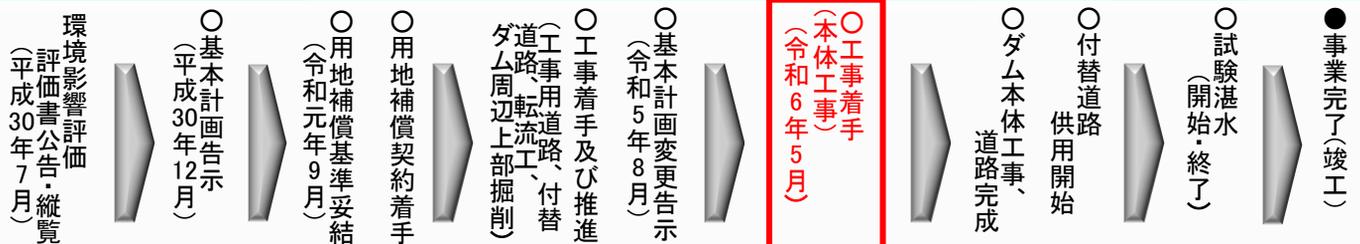


勉強会の様子



ダム堤体付近のCIMモデル

## 鳥海ダム建設事業の流れ



## 編集後記

3月も近づき、暦の上ではもう春ですね。夕方帰る頃に、空がまだ少しだけ明るい日も増えてきた気がします。雪解けと暖かい日差しは嬉しいですが、代わりにやってくる花粉症が心配です。乳酸菌飲料(効果は個人差ありでしょうか?)と気合いで乗り切りたいと思います。

これから新年度に向けて、色々な準備で忙しくなる時期でもありますね。体調に気をつけて暖かくしてお過ごしください。

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所  
〒015-0885 秋田県由利本荘市水林408番地  
TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451  
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>  
e-mail [thr-chokai01@mlit.go.jp](mailto:thr-chokai01@mlit.go.jp)



WEBサイト



X



YouTube